

2014 年に向けての【学習アドバイス】 地 理 B

はじめに

皆さんは、「地理Bの受験勉強イコール暗記」というイメージを持ってはいませんか。確かに、単語やイディオムを沢山暗記していないと英文が読みにくいと同様に、国名・地名・気候区分・地形・農産物・資源・貿易・民族等々、多くの地理用語や統計数値などを記憶していなければ、地理Bを学習していく上で不自由を感じることでしょう。しかし、例年、センター試験地理Bで重視されているのは、単に正確な知識の量だけではありません。問題中の模式図・地図(地形図)・グラフ・統計資料・写真などで与えられた各種のデータを、その場で分析して答えていく能力も、数多く試されるのです。皆さんは、これからそれらの能力を高めていく必要があるのです。

1 学期の学習

まずは正確な知識を身につけるべき時期ですから、教科書や資料集に沿った学習を進めてください。教科書以外に、資料集・地図帳・データブック オブ ザ ワールドなどは揃えておく必要があります。この時、用語を単に単語として暗記するだけではいけません。例えば、「極東風」という用語が出てきたとき、文字の上だけで「極高压帯から吹き出す～」と覚えるのではなく、大気大循環の模式図上で、地球上での実際の位置を確認してほしいのです。

「カナート」という用語の場合でも、「イラン高原に見られる地下の用水路で～」と覚えると同時に、その構造を図示できるようにして、さらに、イラン高原の位置・周辺の地形や気候と農業なども調べてしまうのです。東京やロンドンなど、皆さんにとっての基点となる都市と経緯度を比較したりすれば、地球や大陸上の位置関係が明確になります。このようにして地理の感覚を鍛えてください。

夏休みから2 学期の学習

夏休みには、1 学期の学習内容を復習した上で、そろそろセンター試験の特徴に慣れていく必要があります。まずは市進で受講できる「Z会・センター地理」を受講してください。センター地理の特徴がはっきり分かるはずです。2 学期以降には、毎週日時を決めてコンスタントに過去問の演習を積み重ねてください。解けない問題に出くわすたびに対処療法的に理解していくだけでも、かなりの知識と思考力が蓄積されます。

冬休みから入試直前期の学習

Z会の直前期向け「センター地理」を受講してさらに、残った過去問を解きつくして実践力を磨いてください。攻略のポイントや、試験の盲点等を確認していけば、必ずや志望校合格に必要な点が取れるはずです。来年の栄冠をめざして、楽しく頑張っていきましょう。